

2019  
8  
August Vol.41

# JALしまねびより

今月の特集 JALしまね 第5回通常総代会開催



*Naomichi*

瀬幣姫神社(浮布池)  
大田市 三瓶町



第5回

# 通常総代会特集

J Aしまね第5回通常総代会を6月30日（日）、松江市の島根県民会館で開催しました。



議長団



投票風景

当日は、総代定数1,000人（欠員14人）に対し、965人（本人出席575人、委任状5人、書面出席385人）の出席、議長団に、稲田宗総代（くにびき地区本部）、西川友史総代（西いわみ地区本部）の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。竹下組合長が「今年の5月31日をもって政府が定めた『農協改革集中推進期間』が終了した。一定の評価はあったものの、予断を許さない状況は続いている。このような時だからこそ、協同の力を結集するとともに関係機関との連携を強化し、人・農地・地域資源をフルに活用した『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』へのさらなる挑戦、そして『地域の活性化』への貢献として、組合員の皆さまの声に基づいた総合事業とJA運営を行っていく」とあいさつ。

来賓の丸山達也島根県知事からは、「昨年6月に県が掲げた農業産出額100億円増加の目標に向け、先般JAグループ島根と島根県の間で目標の早期達成に向けた共同宣言を行い、車の両輪として双方が全力を尽くすことを改めて宣言した。令和という新しい時代にふさわしい積極的な姿勢で連携関係を構築し、水田園芸をはじめとする魅力ある農業の確立、島根の強みを活かした特色ある生産の振興、地域を支えていただく中核的な担い手の確保を強力に推進していきたい。活力ある農業・農村の実現に向けて、引き続き全力で取り組んでいく」との言葉をいただきました。

また、役員改選を行い、その後の理事会において新組合長に石川寿樹の就任が決定しました。石川新組合長のもと新たな執行体制がスタートしました。

# 平成30年度 事業報告

平成30年度は、経済の緩やかな回復の中、企業の設備投資は堅調に推移し、個人消費も持ち直しの傾向となった一方、世界経済の緩やかな減速を背景に輸出は伸び悩み、景気の足踏み感が見られました。

また、海外では米国と中国の経済対立による貿易戦争とも呼ばれる関税政策の応酬や英国のEU離脱を巡る混乱、リーダー照射事件や元徴用工問題による韓国との関係悪化など、国際的な政治・経済の先行きも不透明感が高まっています。

島根県内の経済を振り返ると、雇用情勢は改善の動きが見られ、個人消費も緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、少子高齢化、人口減少は一段と進展していく見込みであり、景気回復の実感を得るには至っていません。

農業情勢では、豪雨や台風、地震など多くの自然災害が発生し、全国各地で農産物・農業施設等に甚大な被害をもたらした他、9月に発生した豚コレラはいまだ終息の気配が見えず、復興・防疫の取り組みを引き続き進めていく必要があります。

国際貿易交渉では、平成30年12月にTPP11、平成31年2月に日EU・EPAが発効するなど、関税の削減や撤廃に向けた動きが始まっています。今後、米国との二国間交渉が開始される見込みであり、これらの動向について引き続き注視していく必要があります。

組織情勢では、平成30年6月に公表された農

林水産省による「農協の自己改革に関するアンケート調査」の結果で浮き彫りとなった、自己改革にかかるJAの取り組みと認定農業者等の認識との乖離について、解消に向けた担い手との対話を一層進める必要があります。また、農協改革集中推進期間が期限を迎えることから、平成30年12月から取り組みを始めた「JAの自己改革に関する組合員調査」の結果を受けた組合員との関係強化やJAへの理解促進に向けた取り組みについても引き続き進めていく必要があります。

こうした状況の中、平成30年度は「農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、県や市町村、関係機関と連携し、営農指導と経営指導を通じた農業所得の増大、農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が37,752百万円、購買品供給高が33,915百万円、貯金残高が977,670百万円、貸出金残高が298,851百万円、長期共済保有高3,438,480百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は14.06%となりました。

収支面については、事業利益が1,628百万円、経常利益は2,594百万円。当期剰余金は1,869百万円となり、前年度実績を大きく上回りましたが、貸倒引当金の算定方法を変更したことにより、特に信用事業において貸倒引当金戻入益が933百万円発生したことが主な要因です。

## 財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区分	項目	平成29年度	平成30年度
財務	事業利益	1,016	1,628
	経常利益	2,189	2,594
	当期剰余金	609	1,869
	総資産	1,092,634	1,113,478
	純資産	77,986	79,235
信用事業	貯金	984,693	977,670
	預金	499,645	522,005
	貸出金	299,671	298,851
	有価証券	167,390	155,212
	国債	80,375	78,123
	その他	87,015	77,088
共済事業	長期共済保有高	3,541,460	3,438,480
	短期共済新契約掛金	10,184	9,805
購買事業	購買品供給高	34,014	33,915
販売事業	販売品販売・取扱高	38,129	37,752

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 販売品販売高・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計。

## 平成30年度(第5事業年度)剰余金処分

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	2,643,671,345
2. 剰余金処分数額	1,983,530,105
(1)利益準備金	374,000,000
(2)任意積立金	1,386,464,000
農業振興積立金	200,000,000
農業災害積立金	200,000,000
教育研修充実積立金	150,000,000
税効果積立金	236,464,000
信用事業システム開発積立金	200,000,000
BIS規制強化対応積立金	200,000,000
施設等更新積立金	200,000,000
(3)出資配当金	223,066,105
3. 次期繰越剰余金	660,141,240

(注1) 出資配当金は年1.0%の割合である。

(注2) 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額93,486千円と、地区本部業績還元費用に充てるための繰越額100,000千円が含まれている。

# 令和元年度 事業方針

## 農業振興

### 方針

令和元年度は「第2次農業戦略実践3カ年営農計画」の初年度となり、第1次計画での成果と反省を踏まえ、島根農業のモデルとなる経営形態を提案することにより農業戦略を明確にし、多くの組合員がJAに結集することで「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現につながる目標の達成に向けて取り組みます。

また、JAしまねがリーダーシップをとり、更に組合員の経営基盤の強化を進め、島根県が目標に掲げた「農業産出額目標730億円」「生産農業所得目標300億円」の目標達成に向け取り組みます。



### 重点事項

- ① 新規就農者を含む地域の担い手育成
- ② 担い手経営体の経営課題に対応した農業経営管理支援
- ③ JAの総合力を発揮した事業承継支援の実施
- ④ 農作業等の安全・安心対策
- ⑤ 営農指導での生産者貢献
- ⑥ 農業振興支援事業の実施
- ⑦ 「重点推進5品目」の拡大を核とした水田での園芸振興の推進
- ⑧ 主食用米の「きぬむすめ」「つや姫」への品種誘導
- ⑨ 島根県産農畜産物の安全安心の取り組み
- ⑩ 担い手の労力軽減の取り組み

### 全般

### くらしの活動

豊かなくらし・地域づくりを目的とし、地域活性化の核となる取り組みとしてすすめます。

また、食と農、地域とJAを結ぶ取り組みとして、青年組織、女性部をはじめ組合員や地域住民など幅広い参

加・参画（アクティブ・メンバーシップ）を促進し、農協運動の活性化を図ります。

### 販売事業

しまねブランド商品として市場や卸に頼らない県産農畜産物の販売の強化に取り組みとともに、生産基盤の維持・拡大を図るため、「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた「販売を起点としたものづくり」の実現に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

### 購買事業

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、営農指導部門・販売部門・TACと一体となって効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

また、組合員・地域住民の暮らしを支援し、地域の活性化に貢献するとともに、時代の変化・多様なニーズに対応した商品の提供が行えるよう、生活購買事業・店舗購買事業・自動車燃料

事業を積極的に取り組み、より一層のサービスの充実に努めます。

### 信用事業

総合事業の強みを活かして他業態と差別化した価値を提供しつつ、コスト削減につながる事業見直しにより持続可能な収益構造を構築し、農業・地域から一層必要とされる存在を目指します。

### 共済事業

組合員・利用者のくらしを守り、農業経営と地域社会に貢献する活動を展開するため、地域密着の事業活動である3Q訪問活動を通じて「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提供及び「農業リスク診断活動」を実践し、一層の『信頼』を高めるとともに、次世代・次世代など新たなJAファン（理解者）づくりにより事業基盤の維持・拡大を図ります。

また、高位均質で満足度の高いサービスの提供、適正・迅速かつ効率的な事務処理の実施及びLabels（※携帯用タブレット端末）の全面活用により事業の効率化・機能強化を図り組合員・利用者ニーズに応えます。

## 新役員代表挨拶



代表理事組合長  
石川 寿樹

この度、竹下前組合長の後を受けて、組合長に就任致しました石川でございます。もとより、その器ではございませんが、よろしくお願い申し上げます。

若干自己紹介をさせていただきますと、わたしは昭和27年生まれ、満66歳になります。昭和52年に当時の出雲市農協に入り、爾来42年に亘り、JA一筋に歩んでまいりました。

さて、7月より3年の任期をいただいたわけですが、わたしに課せられた役割は、大きく二つあると思っております。

その一つは、「統合の効果」を更に発揮することです。平成27年3月にJAしまねが誕生し、早いもので4年余りが経過しました。徐々にその成果が現れつつありますが、とは言え、統合して良かったなあと実感

できるようなレベルには達していません。まだまだ調整すべき事項がたくさん残っていますので、速やかに統一していく必要があります。

そして今一つは、「自己改革」の更なる実践です。政府主導の農協改革の集中推進期間は本年5月を以て一応のピリオドが打たれました。しかしながら、われわれ自らが掲げた「自己改革」は、むしろこれから本番です。例えば、柱の一つである「農業者の所得増大」については、生産資材価格の引き下げ等に取り組んでまいりましたが、まだ引き下げの余地があると思っております。

また、「農業生産の拡大」についても、米の買取制度や独自の農業振興支援事業により、販売高は統合前と比較すると、平成30年度は13億円増の377億円となりました。更に令和3年度を最終年度とする次期中期経営計画では、39億円増の416億円の計画を立てています。自ら立てた計画を絵空事で終わらせるのではなく、目に見える形で実践していくことが、何よりも重要な使命だと思っております。

最後に、今後一層のご理解とご協力をお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

## 退任役員代表挨拶



前代表理事組合長  
竹下 正幸

退任にあたりごあいさつを申し上げます。

先の通常総代会を以て、任期満了により平成28年6月より務めてまいりました、代表理事組合長を退任いたしましたこととなりました。

在任中大過なくその任を果たせましたのも、組合員の皆様をはじめ、関係機関、各団体、地域の皆様、そして職員の皆様など、本当に多くの方々のご理解とご協力の賜物と、心から感謝を申し上げます次第でございます。

振り返ってみますと、JAしまねの発足以後、「信頼され、選ばれ、ご利用いただけるJA」を目指し、統合メリットの創出に向けて事業改革や運営改革などに取り組みとともに、「儲かる農業の実現」を目指し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を最重点課題として自己改革に取り組んで参りま

した。

また、JAの経営は経済情勢と社会情勢の変化もあり、非常に厳しい状況にあるなか、組合員の皆様の負託に因應するためには、JAの健全経営を行う体制整備に併せ、事業改革を実施する事が、私たちに課せられた課題であります。このような中、第4回通常総代会において、次期に向けた運営改革の決議をいただき、平成30年11月の臨時総代会では役員定数の見直し等の新たな運営体制についてご承認いただき、体制整備を行うことができました。一方、事業改革では、信用共済事業において、本店と支店を直結する文鎮型組織とし、事業部制的運営とするなど、一定の方向性を決定しましたが、営農経済生活事業につきましては、取り組まなければならない今後の課題が残存しています。JA改革においてはTPPやTAG等、JAを取り巻く農業情勢は依然厳しい状況が待ち受けておりますが、今後も組合員の皆様のご協力をいただき、役職員一同が共通認識を持ち、一丸となって取り組むよう期待しています。

組合員の皆様には、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、心からの感謝を申し上げます、退任のごあいさつといたします。

本当にありがとうございます。



# 新役員紹介

J Aしまねの発展につとめてまいります。  
よろしくお願い致します。



常務理事  
(信用、共済)  
有田 吉弘



常務理事  
(営農、経済)  
石川 薫



代表理事専務  
高木 賢一



代表理事副組合長  
山根 盛治



代表理事組合長  
石川 寿樹



くにびき地区本部  
常務理事 本部長  
栗原 令



理事  
佐々木孝子



理事  
高野 智子



理事  
諏訪 智子



理事  
小村 伸治



やすぎ地区本部  
理事  
根来 茂樹



やすぎ地区本部  
常務理事 本部長  
伊藤 精一



くにびき地区本部  
理事  
多久和 宏



くにびき地区本部  
理事  
田中 鈴夫



くにびき地区本部  
理事  
菅井 一



隠岐地区本部  
常務理事 本部長  
佐々木賢治



雲南地区本部  
理事  
澤田 秀樹



雲南地区本部  
理事  
石原 公夫



雲南地区本部  
理事  
新田 昭喜



雲南地区本部  
常務理事 本部長  
竹下 克美



出雲地区本部  
理事  
藤江美由紀



出雲地区本部  
理事  
福島 隆



出雲地区本部  
常務理事 副本部長  
珍部 誠



出雲地区本部  
常務理事 本部長  
岡田 達文



隠岐どうぜん地区本部  
常務理事 本部長  
新谷 徳昭



斐川地区本部  
理事  
青木 広幸



斐川地区本部  
常務理事 本部長  
山根 善治



出雲地区本部  
理事  
永瀬のり子



出雲地区本部  
理事  
伊藤 篤男



出雲地区本部  
理事  
立脇 渉



いわみ中央地区本部  
常務理事 本部長  
佐々木 豊



島根おち地区本部  
理事  
山田 康司



島根おち地区本部  
常務理事 本部長  
日高 光弘



石見銀山地区本部  
理事  
川上 隆



石見銀山地区本部  
常務理事 本部長  
山崎 辰次



西いわみ地区本部  
理事  
青木 和憲



西いわみ地区本部  
理事  
中島 重秋



西いわみ地区本部  
常務理事 本部長  
田村 清己



いわみ中央地区本部  
理事  
藤若 将浩



いわみ中央地区本部  
理事  
中東多久夫



監事  
川神 守



監事  
岡 睦夫



常勤監事  
田尻 宏



常勤監事  
青砥 正幸



代表監事  
名原 佳宏



雲南地区本部  
執行役員副本部長  
源 之美



くまびき地区本部  
執行役員副本部長  
奥原 展芳



員外監事  
山川 博司

# 第5回 総代会



**Q 1 :** 正組員、准組員ともに減ってきている。このことについて、これまでの取り組みや今後の対応策を聞きたい。

**A 1 :** 統合以前より高齢化や死亡による脱退が進む一方で、若年層の加入が進まない状況にあります。今後の大きなテーマとして、我々の組織基盤維持の観点で検討して参ります。その中で、平成29年度より一戸複数正組合員化の取り組みを展開しており、今年度も継続して取り組む計画を立てています。また、増資の取り組みとして役職員による増資運動を前年度と今年度の2年間取り組む予定としています。

**Q 2 :** 農林中金からの人材受け入れの背景や、奨励金の引き下げの課題への対応等の考えを伺う。

**A 2 :** 農林中金は農業振興への資金支援が厳しくなるなか、全国で400名、島根県に3～4名程度の農林中金の職員を派遣する人的支援に方針が変わってきています。また今回の役員改選では農林中金から理事を受け入れる提案としています。奨励金の引き下げは以前から話があり、大変厳しい内容の中で中期3カ年計画を策定いたしました。事業改革を含めてこれから取り組んでいく考えです。

**Q 3 :** 貸倒引当金の算出方法の変更に伴う戻入益10億円とあるが、変更となった経過を確認したい。

**A 3 :** 公認会計士監査や財務処理の基準例が変更になり、これまでの税法基準から、貸倒実績率に基づく引当てを合理的な基準として引当てることとなりました。その結果、これまで引当てていたものを戻し入れることになりました。

**Q 4 :** 県内農業の持続可能な発展に向け、様々な担い手・後継者対策がなされてきたが、目覚ましい解決に

は至っていない。これからは行政との連携を更に進め対応することが求められるが、JAしまねの社会的使命を今一度伺いたい。

**A 4 :** 非常に大きな課題であり、JAのみならず島根県をあげて取り組むべき問題と思っています。特に農家を中心とした中山間地の人口減少には、産業政策、農業振興政策、そして住みよい町づくりといった課題のもとに、行政や地域の皆さんと一緒に取り組む問題と思っています。その中で、JAも率先して取り組んで参ります。

**Q 5 :** 教育研修機能を県中央会へ移管するとあるが、考え方やあるべき姿を伺う。また事業総利益に基づく配置ではなく、農家が必要とする人員配置や要因管理をお願いしたい。農業は土地と結びついた生産作業であり、農業者に寄り添った職員の教育が中央会にできるのか不安に感じる。地元に着した教育研修をもっと取り入れてほしい。

**A 5 :** 統合により教育研修の担当部署を県中央会からJAしまねの内部部署に移管した経過があります。その後の検討で、教育研修についてはJA内部よりも外部の機関がJA職員研修、育成にあたるべきであるとの考えがまとまりました。全国中央会が教育研修の統括機関として存在している中、全中、県中にてJAしまねの職員教育、人材育成を行うかたちに体制を変更するものです。またJAの事業は総合事業ですので、人員配置にあたっても事業の特性、実態を念頭におきながら基準を定め今後再配置等を実施して参ります。地域に着した教育研修についても検討して参ります。

このほかにも幅広くご意見をいただきました。



本総代会にて付議した議案は次のとおりです。

- 第1号議案 平成30年度事業報告及び剰余金処分案について
  - 第2号議案 第2次中期経営計画（令和元年度～令和3年度）の設定について
  - 第3号議案 第2次農業戦略実践3カ年営農計画の設定について
  - 第4号議案 令和元年度事業計画の設定について
  - 第5号議案 役員選任について
  - 第6号議案 定款の一部変更について
  - 第7号議案 規約の一部変更について
  - 第8号議案 監事監査規程の一部変更について
  - 第9号議案 経営基盤強化積立金規程の一部改正について
  - 第10号議案 会計監査人の選任について
  - 第11号議案 令和元年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
  - 第12号議案 退任理事に対する退職慰労金の支給について
  - 第13号議案 退任監事に対する退職慰労金の支給について
  - 第14号議案 令和元年度における理事の報酬額の決定について
  - 第15号議案 令和元年度における監事の報酬額の決定について
- 報告事項 「JAバンク基本方針」の変更について





# 「JAしまね自己改革取組宣言」 に基づき、自己改革を一層進めて まいります。

6月30日の第5回通常総代会において、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標の実現に向けて、引き続き、組織を挙げて取り組む旨の「自己改革取組宣言」（案）が満場一致で採択されました。

## JAしまね 自己改革取組宣言

JAは、農畜産物の販売事業のほか、信用事業、共済事業などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動などを通じて総合的に結びつけ、農業振興や地域づくりに取り組んでいます。「総合事業」として実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、組合員の負託に応えることが可能となっています。

また、人口減少や高齢化が進むなか、JAの各事業・サービスの提供による生活インフラ機能の発揮と、「食と農」、「助け合い」の視点から、組合員だけでなく地域住民の方々にも参加いただく「JAくらしの活動」の展開が、ますます重要なものとなってきています。

近年、農業者である正組合員に加え、JAの事業を利用し、JAの理念・活動に賛同いただける地域住民の方々の准組合員加入が増えています。准組合員の立場から、JA、農業者が進める「食の安全・安心」の取り組みを「地産地消」という形で後押しするとともに、JAが行う各組織活動への参加によって、地域農業を支える「農業振興の応援団」となっています。正組合員と准組合員の一人ひとりが力を合わせ、地域の農業とくらしを支えあっているのです。

こうした環境・背景を踏まえ、JAしまねは自己改革の3つの基本目標の実現に向けて、組合員の皆さまとともに、以下のとおり組織をあげて取り組みを進めてまいります。

### 記

1. 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組めます。
2. 協同組合の原点に立ち返り、組合員の皆さまとの話し合いを、より一層深めていきます。
3. これまでも、これからも、JAしまねは総合事業を展開し、地域にとって、なくてはならない組織であり続けます。

以上

令和元年6月30日

第5回 島根県農業協同組合 通常総代会



雲南

## 農業者・女性部健診新設 対象広く項目充実

雲南地区本部とＪＡ島根厚生連は、農業生産や日々の生活の土台となる「健康づくり」を支援しようと、今年から新設した「農業者・女性部健診」を6月21日に同地区本部で実施しました。

農業従事者や女性部員をはじめとした組合員が対象で、一般的な健康診断の項目にはない、胸部ＣＴ検診（40歳以上）や甲状腺検査などがセットとなって、ＪＡグループの助成により7,000円で受けることができます。健診を受けた女性は「かかりつけ医では受けられなかった血液、尿検査の他にも色々検査できてよかった。来年も受けたい」と健診内容に満足した様子でした。

ＪＡ島根厚生連健診普及部の江角幸夫部長は「受診者アンケートでは約40%の方が、毎年健診を受診していない現状にあり、ＪＡグループが魅力ある健診を提供し、直接、組合員に呼び掛けることは大いに意義がある。今年は県内全11地区本部で実施を予定しており、各地区本部と協力して取り組みを進めたい」と話しました。



「農業者・女性部健診」を受ける女性

くにびき

## カボチャを重点振興品目に！ 6月下旬より共販出荷を開始

くにびき地区本部は7月2日、中海干拓研修センターで「カボチャ出荷検討会」を開催し、生産者やＪＡ職員、各市場担当者など43名が参加しました。

6月27日より、松江市内の市場を中心に広島や大阪の市場に向け、共販出荷を開始しており、品質や生育状況、出荷する際の規格や品質基準、収穫適期、保存方法を確認する目的で開催しました。

当日は、松江合同青果や広印広島青果、東果大阪の担当者が市場の情勢について解説。続いて、営農指導課の犬山浩二園芸特産係長が「収穫後にキュアリングをすることで腐れを防ぎ、甘みも増す。収穫適期を逃さず、適切な保存に努めてほしい」と説明しました。その後、参加者は出荷前のカボチャを実際に手に取ったり、試食したりするなど品質や味を確認しました。

同課の岩田政彦課長は「昨年より重点振興品目として取り組んでいる。ほくほくとした食感と濃厚な甘みを堪能してほしい」とＰＲしました。

参加した吉岡清さん（朝酌町）は「コクがあり、おいしいカボチャなのでたくさんの方に食べてもらいたい」と話しました。

今年度は共販面積を1.6haから3.5haに拡大。出荷量は92tを計画しており、出荷は8月末まで続きます。



カボチャを手に取り状態を確認する参加者

隠岐

## ＪＡ女子大学で ぶどう狩りを体験

ＪＡしまね女子大学隠岐キャンパスは7月27日、第8回目の講座として日帰り修学旅行を行いました。朝早くから高速船レインボーに乗船し、出雲地区本部管内でぶどう園を経営する大社観光ぶどう園へ出かけました。ぶどう園では、今が旬の「デラウェア」狩りを体験し、出雲地区本部管内の特産品であるぶどうを味わうことができ、参加した生徒からは「甘くて大変おいしい」と好評で、1人2房程度はぺろりと食べていました。今年は天候不順等の影響で良品が例年に比べて少ないとのことから、生徒からは「良品のぶどうが沢山ある時にまた来たいね」と声が聞こえました。

ぶどう狩りの後は、歴史を感じる体験を目的に松江の堀川遊覧船に乗船しました。隠岐の人間は船に乗る機会が多いものの、風情のある松江城の周辺をゆったりと遊覧できたことは、一緒に旅をした者同士の良い思い出になりました。



やすぎ

## ホック食育フェスタで 金芽米をＰＲ

やすぎ地区本部は松江市のくにびきメッセで6月22・23日の2日間、(株)フーズマーケットホックが主催する「ホック食育フェスタ2019」に出展しました。

同地区本部はＪＡしまねの「金芽米」と「ロウカット玄米」をＰＲするため、試食や健康特性の説明などを行い、来場者に好評でした。また、家庭でも食べてもらおうと、サンプルとして金芽米3合を400袋プレゼントし、サンプルを受け取った来場者は「今日いただいた金芽米を家族と一緒に食べてみます」と話しました。

今年は食品メーカーをはじめとする約60のブースが出展、2日間で約1万名が来場し大いに盛り上がりました。精米センターの三島裕所長は「金芽米のおいしさを実感してもらおう良い機会となった。さらに金芽米の認知度を高めたい」と話しました。



**斐川 美肌はとむぎ料理講習会**

斐川地区本部よい食工房は7月9日、ひかわあぐりキッチンふぁみーゆで「誰でも簡単・お手軽レシピ」と題して「美肌はとむぎ料理講習会」を開催しました。はとむぎに興味を持つ13名が参加し、郷土マクロビアンの岡里美さんを講師に招き、「はとむぎ茶飯」「とうもろこしとはとむぎのスープ」など計5品を調理しました。出来上がった料理を岡さんと一緒に堪能しながら、はとむぎについての効果・効能についての説明を受けた参加者は、「地元こんな素晴らしい食材があったなんて驚いた!」「健康と美容のためにも、これからも家族で食べていきたい」などと感想を話しました。健康・美容志向が高まる中、よい食工房では斐川町産のはとむぎの良さを多くの人に知ってもらうために、このような料理講習会を今後も継続して開催していく予定です。



**石見銀山 大田市長へメロンを贈呈**

温泉津町施設園芸組合の岩倉勝政組合長、厚朴邦広副組合長は7月11日、大田産メロンPRのため大田市役所を訪れ、楯野弘和大田市長に「アムスメロン」を贈呈しました。同組合では7月3日から「アムスメロン」の出荷が始まっています。

早速、試食した楯野市長は「とても甘くておいしい」と感想を話しました。

岩倉組合長は「糖度が高く、美味しいメロンに出来上がっている」と語りました。

大田市長へのメロン贈呈は地元産のメロンを広くPRしていきたいという思いから企画しています。

楯野市長は「暑い中の作業だが、体調に気をつけながら地域のために頑張っていたください」と激励しました。



市長（左）にメロンを贈呈する岩倉組合長（中央）、厚朴副組合長

**隠岐 どうぜん 令和初の家畜市場の開催**

7月3、4日の両日、新元号初の隠岐どうぜん管内家畜市場が開催されました。隠岐諸島では、春（3月）、夏（7月）、秋（11月）の年3回家畜市場が開催され、島の一大イベントとして風物詩となっています。隠岐どうぜん管内は、知夫里島（知夫村）、中ノ島（海士町）、西ノ島（西ノ島町）の3島3町村で構成されており、各町村に家畜市場が常設されていて、畜産の重要性が理解できると思います。3日の知夫市場を皮切りに、海士市場、翌4日の西ノ島市場と、子牛240頭、成牛22頭の合計262頭の上場となり、前回（3月）市場より上場頭数は減りましたが、平均価格は若干上昇しました。畜産総合施設として開設した西ノ島家畜市場が、関係者の協力によりスムーズな運営となり、無事1周年を迎えた記念を込め、前日の2日に当施設中央広場にて、購買者、畜産農家とJAをはじめとする関係者による、バーベキュー意見交換会を開催しました。出席者の貴重な意見を聞くことができ、有意義なひと時となりました。また、今後もこのような場を設けてほしいとの声が多く聞かれ、畜産の活況に結び付けたいと同時に大きな励みになりました。



**出雲 島根県産シャインマスカット 出荷本格化を前に目合わせ**

出雲地区本部は7月15日、同地区本部荒茅ぶどう集荷所で令和元年産「シャインマスカット」の出荷目合わせ会を開きました。出荷の本格化を前に、生産者ら約150人が等級規格を確認しました。

同地区本部管内の「シャインマスカット」の作付面積は右肩上がりで増えており、今年産は28ヘクタール（前年比16%増）で栽培します。ギフト需要に対応するため8月上旬までの出荷量を伸ばし、管内の販売金額3億円を目指します。

同部会大粒系部の吾郷均部長は「品質重視で他産地と勝負していく。商品を扱っているという意識を持って、選果選別を徹底してほしい」と呼びかけました。

JAしまねでは、激化する産地間競争に対応しようと、今年産から県下の「シャインマスカット」の共同計算を実施しています。一元的に管理して品質の高位平準化を図るとともに、ロットの拡大で売り場確保、県産「シャインマスカット」の地位向上を図ります。



出荷規格を確認する生産者

西いわみ

## 益田市長に旬のメロンと ブドウを贈呈しました

旬を迎えるメロンと、大粒系ブドウを味わってもらおうと7月10日、益田メロン部会(部会長大場尚俊)と西いわみぶどう部会(部会長岩本和雄)が揃って益田市山本浩章市長を訪ね、「アールスメロン」と「シャインマスカット」「巨峰」「ピオーネ」を贈呈し益田産農産物をPRしました。

当日は同市常盤町の市長室に、大場部会長と岩本部会長が化粧箱に入った「アールスメロン」と「シャインマスカット」「巨峰」「ピオーネ」を持参しました。

試食した山本市長は「メロンは口当たりが良くとても甘い。ブドウも香りが良くおいしい」と喜びました。

JAでは、今後も管内農産物のPRや販売促進に向けた取り組みを継続していく計画です。



島根  
おおち

## ケイトウ栽培いよいよ大詰め

島根おおち女性部では営農活動として「ケイトウ栽培」に取り組んでおり、今年で8年目をむかえました。2月に開催した「ケイトウ栽培講習会」を皮切りに、4月中旬からは各支部で「種まき講習会」、5月には「定植に向けた栽培現地講習会」、6月には「栽培管理講習会」、7月には「出荷目合わせ会」を開催し、出荷のピークとなるお盆に向け準備を行っています。天候に左右され、毎年様々な課題もありますが、4月に一粒一粒丁寧に蒔いた種は順調に成長し出荷時期を待っています。今年も「赤」、「オレンジ」、「ピンク」3色のケイトウの出荷を予定しています。

島根おおち女性部では「ケイトウ栽培」の活動を継続していくことで、ケイトウ栽培の輪、そして女性部活動の輪を拡げていきたいと考えています。



ケイトウの生育状態を確認する島根おおち女性部寺内部長

本店

## アグリミーティング& 農機総合展示会 大盛況!

6月13、14日の2日間、松江市のくにびきメッセで「アグリミーティング2019」と「第9回農機総合展示会」を開催しました。

今年のテーマは「『新時代』みんなで創るしまねの農業～島根の農業半端ないって!!～」に設定。相談コーナーなど様々なブースや、最新農業機械を展示し、担い手の皆さまが抱える様々な課題の解決に向けて、JAグループの総合力を発揮し提案しました。県内で生産された旬の野菜や果物、加工品を販売し島根農業の魅力を発信する「島根大産直市」も同時に開催し、2日間で担い手や一般消費者あわせて5,500人の皆さまにご来場いただきました。

メインステージでは「下町ロケット ヤタガラス編」の登場人物のモデルとなった北海道大学大学院農学研究院副院長・教授の野口伸氏から、スマート農業技術の必要性や実用化が期待される最新の技術について講演いただいたほか、女性部フレッシュミズ部会がプロデュースした農作業着ファッションショーを行うなど会場は大変盛り上がりしました。



相談ブースやメーカーの展示が並ぶ会場は多くの人で賑わいました

いわみ  
中央

## 青年連盟 出前授業で地域と交流

いわみ中央青年連盟(柿木悟委員長)は7月19日、公民館活動の一環として浜田市社会福祉協議会の生活支援コーディネーターからの依頼を受け、この度、初めてこんにやく作りの出前授業を行いました。当日は20名の参加者を4班に分け、こんにやく芋をサイコロ状にカットするところから作業を始めました。作業中は和気あいあいとおしゃべりしながらでしたが、最終工程の茹でる段階になると、他の班の出来具合が気になるのか、集中し徐々に無言になりました。自分達で作ったものは臭みもなく、格別においしいこんにやくが出来上がりました!参加された皆さんは大満足でした。青年連盟は今後も交流活動や、食農教育活動を積極的に行っていきます。



JA  
自己改革  
実践中

JAグループ島根

# JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

古谷光教さん（44歳）は、隠岐郡知夫村で繁殖牛を飼育しています。知夫村での飼育は、その環境を活かした放牧が主となりますが、一方で放牧であるが故の事故や牛の行方不明などが起こりやすい状況があります。古谷さんは牛たちが事故にあわないよう、毎日の観察や見回りを徹底するなど、細やかな気配りを欠かしません。

JAしまね農業振興支援事業は平成29年11月に新規就農の際、就農にあたって必要となる牛舎の整備や畜産専用機械の導入、また牛の価格高騰が続いていることから所得の安定を図るため繁殖母体となる雌牛の早期確保に活用しました。

新規就農者や後継者不足など隠岐地域の大きな課題に向け、JAには新規就農者や家畜農家への継続的な支援を期待しています。

古谷さんからは「年間出荷頭数30頭が目標。知夫村全体の出荷頭数の増加に貢献したい」と意欲をお話いただきました。

隠岐郡知夫村 古谷 光教さん



## 一所懸命 青年連盟

### JAしまね島根おおち青年連盟

JAしまね島根おおち青年連盟は、島根県のほぼ中心にある邑南町、川本町、美郷町、江津市桜江町の盟友146名で構成されています。活動については、食農教育活動に力をいれており、管内の保育所、園に野菜苗を配布し、その収穫した野菜と盟友が作った野菜を使って「愛菜カレーの日」というイベントを開催しています。管内すべての保育所、園（16ヶ所）で、園児と一緒に野菜を切ったり、皮をむいたりしてカレーを作り、食べて交流しました。また、盟友が食に関する紙芝居を読んで園児達も熱心に聞いていました。今後もJAしまね島根おおち青年連盟は、未来を担う子供たちと一緒に、食農教育活動を続けていきたいと思っています。



# 斐川地区本部総代説明会

令和元年6月23日(日)に斐川地区本部総代説明会を開催いたしました。

斐川地区本部の総代の皆様から頂きました  
主なご意見・ご質問に対する回答をご報告いたします。

## 斐川地区本部総代説明会

令和元年6月23日(日) 午前9時  
J A しまね斐川地区本部本館4階大ホール

### 質問・意見・要望等

**Q** 農業災害復興対策の中にある自然災害への支援基準について。また、雪害対象事業費181,407千円とあるが、県・市・JAの内訳と支出基準について

**A** J A 農業災害復旧支援対策を基に理事会協議決定しています。市・県と情報共有し、雪害は8地区本部、J A 33,000千円の支援を行いました。

**Q** 県・市の補助対象外の方への支援について

**A** 県下93の団体へ支援いたしました。斐川地区本部管内は認定農業者や集落営農

について県・市から2/3を補助、J A は1/6を補助しており、認定農業者・集落営農以外の経営体の育苗ハウス等について県・市の補助はなく、J A から1/2を補助いたしました。

**Q** J A から補助金が出ているケースで施業者がJ A 外の業者が行っている点について

**A** 県事業は入札を行います。

**要望** 雪害で廃業された補助対象外はどう生産農家等に見舞金を出して欲しい。

**Q** 剰余金処分について今年度は経営安定積立を行わないのか

**A** 基準をクリアしたので積み立ては行いません。

**Q** 財務調整について

**A** 雲南地区本部が残っています。場所別部門別分析をものさしとして財務調整をゼロにする様取り組んでおり、10年以内に



は終わります。申し送りいたします。

**Q** くにびきの業績還元の使途について  
持続可能な農業の実現に活用している。業  
績還元は足かせがあると聞いていたが

**A** 業績還元の使途については、各部か  
らの提案を基に運営委員会にて協議を行  
い主として次世代の人にJ Aに参画して  
もらうことを主眼に実施いたしました。

**Q** 葬祭事業について各資材（枕花など）  
余分なものがあるのではないかと、細かく  
オーダー出来ないのか

**A** 精査して取り組みます。

**Q** 固定資産取得の補助金の記載につ  
いて、J A以外の補助であることを明確に記  
載して欲しい

**A** 来年度以降は要望の通り記載します。

**Q** 積極的に業務を行っている職員がい  
ることは認識しているが、近年人件費の割  
合が高くなってきており、労働生産性が下  
がってきているのではないかと

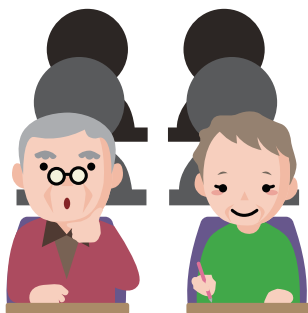
**A** J Aしなねとして労働生産性と労働



分配率について目安が示されており、その  
指標を目指し取り組みます。

**Q** 総代会資料をもっと早めに配布して  
欲しい。また、内容を簡略化して欲しい

**A** 簡略できる箇所は簡略化し、決算後  
監査を受けて出来るだけ早く配付いたしま  
す。



## 総務課から

TEL 73-9603

### 斐川地区本部運営委員会情報 7月5日開催

#### 1. 協議事項

- ① 斐川地区本部運営委員会の構成について
- ② 斐川地区本部運営委員積立について

#### 2. 報告事項

- ① 平成30年産米販売進捗について
- ② 貯金・貸出金実績について（令和元年6月末）
- ③ 斐川地区本部運営委員報酬について
- ④ 地区本部総代説明会・第5回通常総代会の報告について
- ⑤ 斐川地区本部機構・人員配置の変更と人事発令について



斐川地区本部より

ごあいさつ



島根県農業協同組合  
斐川地区本部 常務理事 本部長

山根 善治

この度、6月30日の第5回通常総代会終了後に開催された理事会において、斐川地区本部の本部長に再任されました。引き続きJAしまね、及び斐川地区本部の諸課題解決に邁進して行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

さて、JAしまねも統合して5年目を迎え、今総代会において承認された「第2次中期経営3カ年計画」「第2次農業戦略実践3カ年営農計画」を基本とし、「斐川地区本部版経営計画」を策定し、引き続き斐川地区本部の特色を活かした事業運営をしてまいりたいと思っております。具体的には、今後とも地域農業の発展を第一義に考え、スマート農業の生産技術の向上を始め、多様化する農家さんのニーズに応えられる指導体制の確立。その他、支店においては、皆が集え、憩える施設にしたいと考え、理事、運営委員、職員共々に意識共有をしながら、経営基盤と組織基盤の強化に務め事業展開をしていく所存でございますので、組合員、地域の皆様のご理解とご協力をお願いし、就任の挨拶とさせていただきます。



島根県農業協同組合  
斐川地区本部 理事

青木 広幸

この度、6月30日に開催されましたJAしまね第5回通常総代会において、斐川地区本部の理事に就任しました。JAしまねも11月の臨時総代会の決議により理事が65人から40人に削減され、斐川地区本部も理事2名体制となりました。

内外ともに大きな変革の中で責任の重さを痛感するとともに、組合員の皆様・地域の為に微力ではありますが誠心誠意努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

JAしまねも統合から4年半余りが経過しました。しかしまだ統合メリット・スケールメリットの効果が表れず、組合員の皆様に満足していただける状態にはありません。「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」と大きな目標の中で、この3年間で改革を推進し組合員に満足してもらえる目に見える形の成果が必要です。

斐川地区本部においても、組合員の皆様のJAに求めるニーズも多様化してきました。農地集約も進み80%を超え、少子高齢化・中山間地を中心とする荒廃地の増大・鳥獣問題等地域の抱える問題は山積しています。このような状況のもと、JAが組合員の皆様や地域の生活インフラ機能の一躍を担う組織として、改革に向けて山根本部長のもと役員一丸となって努力してまいりますので、皆様からのご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。



島根県農業協同組合  
本店 常務理事 (営農・経済担当)

石川 薫

この度の役員改選により斐川地区本部常務理事副本部長を6月末日を以て離任することと相成りました。在任中は至らぬことも多く皆様にご心配をお掛けしたのではないかと、申し訳なく思っている次第でございますが、在任中には多くの皆様に励ましの言葉をいただきましたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございます。

さて、今回の改選により7月1日より本店 常務理事(営農・経済担当)に推挙され就任いたしました。もとより浅学非才であります。これまでの長きにわたる皆様からのご厚情と経験を糧として困難な時局ではあります。島根農業・農村の将来のために力を振り絞って邁進する決意と覚悟で職責を全うする所存でございますので、今後ともよろしくご願ひ申し上げます、ごあいさつといたします。



島根県農業協同組合  
監事 (中部地区選出)

岡 睦夫

この度、6月30日に開催された第5回通常総代会監事候補者としてご推薦いただき、中部地区選出の監事として7月より務めさせていただきます。

島根県農業協同組合の監事として微力ではありますが、組合員の皆様、地域活性化貢献のために職責を自覚し役責を果たしていければと考えております。

さて、国際情勢、国内での農業政策に大きな変化が直接感じられる状況となってきた中、組合員の皆様の事業・運営内容が厳しさを増してきている状況にあります。

JAグループ島根も自己改革として実践中である中で、多岐にわたる課題・問題に対してJAの果たすべき組合員の皆様の目線に立ち、監事の立場として繋がりのある職責を果たしていければと思っております。

組合員の皆様のご支援とご指導を賜り取組んでまいりたいと思っておりますのでご協力のほど宜しくお願いいたします。





## 退任のごあいさつ



星野 尊史

平成28年6月からJAしまね斐川地区本部の理事として3年間務めさせていただきましたが、この度6月30日開催の通常総代会におきまして斐川地区本部の理事を退任いたしました。在任中は公私にわたり格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。



片寄 利行

令和元年6月30日開催のJAしまね第5回通常総代会におきまして、斐川地区本部の理事を退任いたしました。理事としての任期を全うできましたことは皆様からのご支援ご協力があればこそであったと思っております。在任中に賜りましたご厚情に対しまして厚くお礼申し上げます。



青木 敏男

平成23年6月から平成27年2月までJA斐川町の代表監事を、平成28年6月からはJAしまねの監事として務めさせていただきましたが、このたび6月30日をもって退任いたしました。在任中は皆様方から格別のご指導とご支援を賜りましたことを衷心より厚くお礼申し上げます。今後とも変わらぬご指導とご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

## 役員紹介

斐川地区本部

島根県農業協同組合 斐川地区本部  
常務理事 本部長

山根 善治 (斐川町三分市)

島根県農業協同組合 斐川地区本部  
理事

青木 広幸 (斐川町出西)

島根県農業協同組合  
監事 (中部地区選出)

岡 睦夫 (斐川町富村)

斐川地区本部

## 運営委員紹介

原 昇 (斐川町学頭)

森脇 孝充 (斐川町莊原)

白根 幸男 (斐川町神庭)

黒田 幸司 (斐川町三絡)

杉谷 誠治 (斐川町上庄原)

山田 美信 (斐川町阿宮)

樋野 篤 (斐川町神水)

竹内 房雄 (斐川町併川)

今岡 豊 (斐川町上直江)

佐藤 啓悦 (斐川町名島)

陰山 俊行 (斐川町直江)

黒田 富広 (斐川町直江)

遠藤 清 (斐川町美南)

伊藤 晴夫 (斐川町原鹿)

金築 基 (斐川町今在家)

深津 光男 (斐川町沖洲)

古川 幸希 (斐川町中洲)

曾田 薫 (斐川町黒目)

森脇 良治 (斐川町坂田)

飯塚 順子 (斐川町三分市)

三島 明美 (斐川町鳥井)

営農第一課から TEL 73-9616

水稲

ハナエチゼンの収穫時期を迎えています。つや姫・コシヒカリについても、まもなく収穫時期を迎えます。ほ場を確認し、適期刈取に努めましょう。

適期刈取りの判断

収穫の判断はほ場内の平均的な穂を何点か抜き取り、**青味粉率が10～15%の時期が適期**(下記図参照)

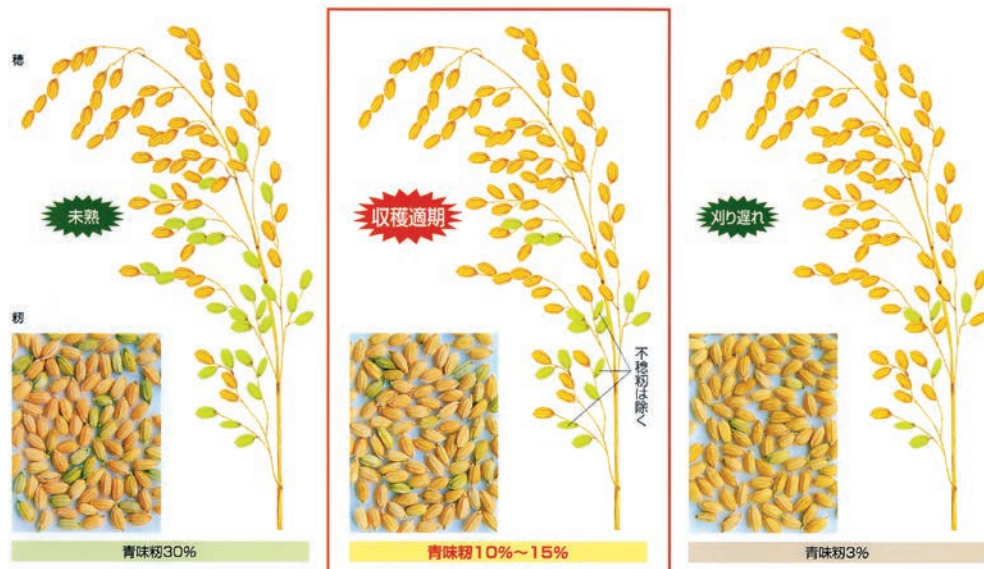
特に収穫に日数を要す生産者の方は、**青味粉率15%の時期から収穫を開始してください。**

それ以上熟れるのを待つと刈り遅れで、**胴割れ・茶米の原因となります。**

○ 胴割れ粒の発生要因

- ① 刈り遅れ
  - ② 早期落水による土壌水分不足
  - ③ 過乾燥
  - ④ 乾燥速度の早すぎ
- 胴割れ粒… 精米すると割れてしまい、炊飯時にノリのようになってしまい、べちゃべちゃとした炊き上がりのご飯になってしまいます。

☆最後の仕上げまで慎重に行い、「売れるひかわ米」の生産をしましょう！  
 ☆収穫後には、完熟堆肥・ミネラルGなどを積極的に投入し、秋耕(深耕)を実施しましょう



お知らせ 令和元年産米共同乾燥調製施設の荷受け計画

8月			9月			10月		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
ハナエチゼン			つや姫			きぬむすめ		
黒目カントリーエレベーター			つや姫・コシヒカリ			きぬむすめ		飼料用米

- ハナエチゼン .....▶ 西部ライスセンター
- つや姫 .....▶ 西部ライスセンターおよび黒目カントリーエレベーター
- コシヒカリ .....▶ 黒目カントリーエレベーター
- きぬむすめ(きぬむすめ特別栽培米) .....▶ 西部ライスセンターおよび黒目カントリーエレベーター
- 飼料用米 .....▶ 黒目カントリーエレベーター

※荷受開始日については、防災無線にてお知らせします。

資材課から

TEL 73-9619

# 土づくりをして地力を高めましょう!

土づくりをすることで、しっかりとした根が育ち、健全な根を持つことにより稲穂が十分実ります。加えて倒伏・病害虫に強くなります

資材課では土づくり資材のミネラルGフレコン(1本:200kg)の散布を受け付けております。

ミネラルGの散布の申し込みについては、7月25日(木)の農業振興区長・補助員兼生産委員合同会において、申込書を各生産委員の皆様にお渡ししております。また、JA営農総合センター内の資材課にも申込書を用意しておりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

尚、土づくり資材散布には地域主体型生産調整推進事業より散布助成(1,500円/10aを上限に、面積に応じて予算の範囲内で単価調整)があります。

## アグリ革命アクアはここがすごい!

### ポイント1 酵素の力で稲わらを分解!

☆土壤環境に影響されることなく効果を発揮します。

### ポイント2 うきワラ・ガスわきが驚くほど減少!

☆乾田・湿田に関係なく効果を発揮し、生育をサポートします。

### ポイント3 自由に希釈できる液剤タイプ!

☆田んぼの面積に関わらず、全ての農家様にお使いいただけます。

### ポイント4 10aに1袋を撒く細粒タイプもあります!



10aタイプ  
(100ml)

50aタイプ  
(500ml)

## 究極のケイ酸肥料!! イネニカ 20kg/袋

ケイサン補給と土壤改良を目的とした新しい形の肥料です!

施肥量(10aあたり): 3~6袋でOK!

土壤改良! 抵抗力・登熟歩合向上! 品質UP!!

### 新商品のご案内

## 土づくり肥料 田んぼの守 15kg/袋

鉄分不足の水田におすすめ! 不足しがちな養分を効率的に補う事のできる総合的な土づくり肥料です。

根に障害を起こす硫化水素を無毒化する効果のある鉄を多く含み、マンガンとの相乗効果により稲の健全な生育に役立ちます。

施肥量(10aあたり) 60kg ~ 100kg

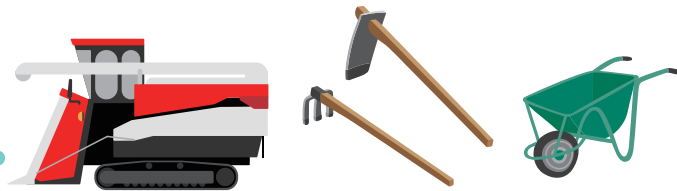
●フレコン(1本:200kg)をご希望の方は資材課までお問い合わせください。

農機課から

TEL 73-9620

# 秋の農繁期対応についてのお知らせ

今年度の秋の農繁期対応は



令和元年

8月17日(土)  
～10月6日(日)

営業時間 8:30～17:00  
(土日、祝日営業致します)

※9月29日は、地区民運動会の為、休日とします。

※雨天の場合、急遽予告無く休日とする場合がありますので、予めご了承下さい。

全国的に農作業中の熱中症による事故が増加しています。体調管理に十分気をつけ、熱中症および不注意による事故に注意しましょう。

## 我が子自慢・孫自慢



すくすく成長してくれて嬉しいです。これからも、ひかりちゃんの成長が楽しみです!

投稿者 出西地区 島田 仁子さん

端本 ひかりちゃん (0歳)



## 大募集!!! 「我が子自慢・孫自慢」

あなたの撮った写真を掲載してみませんか?  
プロ・アマ問いません。



応募先

JALまね斐川地区本部 組織広報課  
〒699-0593 出雲市斐川町荘原2172-3番地  
☎73-9605 Eメール:kouhou.hik@ja-shimane.gr.jp  
※写真にはコメント、住所、お名前、連絡先を付けて応募して下さい。

ウィル給油所から

TEL 73-9626

最新鋭 ドライブスルー  
洗車機導入

トッピング  
メニュー

半額!!

イベント期間 8/1 ~ 8/31



### ブラシ式 タイヤ洗浄

ツインジェット&タイヤブラシでタイヤとホイールを強力洗浄!!



虫取り効果!!

### クリアウォッシュ

精製ミネラルオイルが油分になじんで、くすみを除去

車に付着した  
**油性汚れ**を  
落とします。

ワックスや  
コーティングの  
**劣化被膜**を  
除去します。

**塗装に**  
**やさしく**  
車へのダメージが  
ありません。



JAしまね ウィル給油所

出雲市斐川町荘原 100-2 TEL 0853-73-9626



## 枝豆収穫開始

7月16日から、出東地区の(農)かわひがしの圃場で枝豆の収穫作業が始まりました。風味や鮮度を保つために、早朝から収穫が行われます。枝豆収穫機での作業は収穫から脱莢(だっきょう)までの一連の作業を圃場で行うことができるため作業効率の大幅アップとなりました。昨年までは「湯あがり娘」一種類の栽培でしたが、今年から試験的に「夏風香」も同時に栽培しています。収穫した枝豆は一日保冷庫で寝かした後、豆の形や数によって選別したものを袋詰めし、一袋200gで出荷されます。同法人の大森さんは「今年は雨が多

く日照不足のため樹も小さく量もやや少ないので、今後の天候の回復に期待するとともに、味の向上に努めていきたい」と期待をこめました。収穫された枝豆はJAに出荷される他、保育園や幼稚園の給食やおやつにも使われ、たくさんの人に喜ばれています。



## 「島根県版GAP美味しまねゴールド」取得

農業の作業工程を管理し安全で美味しい県産品であることを知事が認証する「美味しまね認証」の、より高水準である「美味しまねゴールド」を初めて荘原地区の原進氏(品目:米)が取得され、31日に県知事より認証書を交付されました。

原氏は何年も前から、毎日ほ場毎の作業内容や収量等を細かく日誌に記入しておられ、経営内容はパソコンソフトで管理をされていたことからスムーズに取得されました。

原氏は「今後も作業を行う予定をしっかりと立て、より効率的な作業や安全・安心な農産物の出荷をするため、作業は記録しながら品質向上を目指す。多くの方に認証取得してもらいたい」と話されました。斐川地区本部では、今後も取り組みされる生産者への支援や、認証取得者へのフォロー活動などを行います。



## 野菜苗生産70周年記念大会

7月26日、出雲市斐川町の華満 斐川本店でJAしまね斐川野菜苗部会は、「野菜苗生産70周年記念大会」を開催しました。同部会の持田洋二部会長は「令和を迎えるにあたり、組織の改革や栽培方法の近代化を経過し現在に至っています。これまで作業の分担化や、各戸の生産量の拡大に取り組み、ポット培土の統一など幾多の改善を行ってきました。今後も苗部会一丸となって、斐川町の農業生産拡大に向けて取り組みを行っていきます。」と決意表明をしました。同部会は、自家用西瓜苗の連作障害回避を目的とし、昭和23年に「西瓜接苗組合」として設立されました。今後は、更なる高品質苗の生産に向けた研究を継続し、「斐川町の野菜苗」が安心して取引していただけるように取り組んでいくとともに、次代を担う後継者育成を積極的に行い、末永い生産活動につなげていきます。



持田部会長による挨拶

## 保育園で恒例の夏祭りを開催

7月13日出西保育園、20日あい川保育園、27日に伊波野保育園で毎年恒例の夏祭りが開かれました。JAしまね斐川地区本部からも各支店と渉外担当の職員が参加させていただき、焼きそばや、ポップコーンなどの販売を行ったところ長蛇の列ができ、あっという間に完売となりました。催し物では、園児たちによる神楽や、先生による踊りの披露などで会場は盛り上がりました。初めて見に来た保護者は「みんな楽しそうでよかった。どのクラスの出し物も工夫されていてとても楽しめました。来年も是非来たいです」と話し、参加したJA職員の一人は「子供たちに美味しく食べてもらえて良かった。賑やかなお祭りで職員も楽しめました」と話しました。



あい川保育園



出西保育園



伊波野保育園



# 洋裁教室生徒募集中



**会場** JALしまね出東支店 会議室

**日時** 第1・第3 月曜日 AM9:30~AM11:30

**講習費** 1回 1,600円

**講師** 岡 由美 先生

※材料とミシンは各自でご持参ください。



基本から応用まで 作りたい作品を自由に製作できる教室です。



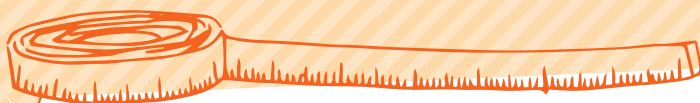
**洋服のリフォーム**

オリジナルの服やカバンを作ってみませんか?

※募集人数に限りがありますのでお早めにお申し込み下さい!

★祝日の場合は次の週となります

★1回だけの参加でもOK!その場合はご連絡して下さい



お問い合わせは… JALしまね 斐川地区本部  
生活課 TEL73-9622

♪ 24時間いつでもあなたのそばに♪

# 介護福祉だより

介護スタッフ  
募集中!

お問い合わせ 介護センター ☎73-9635 デイサービスセンターつつじ園 ☎73-7314

## 短冊に願いを七夕まつり

つつじ園では、7月9日～11日の3日間「七夕まつり」が行われました。まつり前から、利用者の皆さんに笹飾りや短冊に願いを書いていただき、当日ホールには、生の笹が用意され願いを込めて飾りつけされました。お昼は七夕特別メニューが「おしながき」と一緒に準備され、皆さんに喜んで召し上がっていただきました。また、この3日間は「八千代会」から大正琴の演奏、「えくぼ」から人形劇、「おおぎ会」は銭太鼓、歌、どじょうすくい踊りを皆さんにご披露いただき拍手とともに利用者の皆さんも一緒に歌ったり、人形劇では孫を見るような温かな目で鑑賞していただきました。ボランティアの皆さんには七夕まつりを更に盛り上げていただきありがとうございました。今年度は、デイサービスセンターつつじ園が誕生して15周年を迎え、9月には皆さんと楽しい企画が出来ようスタッフは検討中です。



眺めることは出来ませんでした。最近、良質の油として注目されているオリーブオイルのテイステイングやオリーブオイルを使用した化粧品を試供したりすることが出来ました。

和気ヤクルト工場ではヤクルトが誕生するまでを映像で観たり、生産工程の見学をしました。衛生面、品質管理が徹底されている現場を見学しました。また、環境保全にも取り組んでおられ、回収された容器を利用し水の浄化をしたり、樹脂に再生されたプラスチック製品にリサイクルされていることがわかりました。女性部の活動方針となっているエコライフ運動の環境問題についての学習にもつながり、有意義な研修となりました。



## \*視察研修を行いました\*

JA  
女性部  
通信

女性の元気でいきいきJA



7月3日に今年度の視察研修を岡山和気ヤクルト工場と牛窓オリーブ園へ44名の参加で行ないました。

最初に日本のエーゲ海といわれている牛窓のオリーブ園へ行きましたが、あいにくの空模様で瀬戸内海の美しい景色を

8月19日(月)	パッチワークグループ	ひかわあぐりキッチン	ふあみーゆ	9:30～
8月20日(火)	ひまわりグループ	ひかわあぐりキッチン	ふあみーゆ	9:00～
8月21日(水)	いきいきグループ	ひかわあぐりキッチン	ふあみーゆ	10:00～
8月22日(木)	書道グループ	ひかわあぐりキッチン	ふあみーゆ	9:30～
8月22日(木)	手芸グループ	ひかわあぐりキッチン	ふあみーゆ	13:30～
8月28日(水)	女性倶楽部ソレイユ	ひかわあぐりキッチン	ふあみーゆ	9:00～
9月 9日(月)	絵てがみグループ	ひかわあぐりキッチン	ふあみーゆ	13:30～
9月10日(火)	ちぎり絵グループ	ひかわあぐりキッチン	ふあみーゆ	9:30～
9月11日(水)	いきいきグループ	ひかわあぐりキッチン	ふあみーゆ	10:00～

JA  
女性部  
活動予定

新規加入 大歓迎!!  
待ちよ～よ!



# JAひかわ女性大学

JA HIKAWA Women College

楽しく学んで！  
新しい仲間を見つけませんか♪  
毎月1回自分だけの時間を作ってみませんか♪



## 2019年10月開講！ 第5期生募集

きっと新しい自分に会える。

- ◆ 入学試験 たいま免除中
- ◆ 入学資格 JAしまね斐川地区本部管内在住もしくは勤務されている20歳～49歳までの女性  
※入学時に組合員加入(出資101,000円)をして頂きます。
- ◆ 入学金 5,000円(出資金は除く)  
中途退学の場合は返金がありません。
- ◆ 定員 20名
- ◆ 期 間 令和元年10月～令和2年9月
- ◆ 主 会 場 JAしまね斐川地区本部 施設
- ◆ 願書提出期限 令和元年9月27日(金)(定員になり次第締め切ります)
- ◆ そ の 他 1. 農家: 非農家を問いません。  
2. 講義によっては材料費がかかることがあります。
- ◆ 入 学 式 令和元年10月10日(木)

特典

おさいふカードをお持ちの方は、女性大学入学で200ポイント・組合員新規加入で500ポイント付与されます。



●入学願書は最寄りの支店へご提出ください。

### 第5期生 JAひかわ女性大学 Spice カリキュラム(予定)

開催月日	講 義	場 所	内 容	講 師
2019年10月10日 9:00～12:00	入学式(学生証交付) オリエンテーション アレンジフラワー教室	営農総合センター	学生証を交付します。 JAの役割、活動を紹介します。 入学のお祝いに作ってみよう	斐川地区本部 本部長 企画総務部長 グリーンセンター職員
11月14日 9:30～12:00	お香に癒されて におい袋づくり	JA 料理教室	県内で唯一、和の香りをつかさどる調合師に教わります。	西田 真麻子
12月12日 9:30～12:00	家の光をお手本におせち料理を作ろう おせち料理作り	JA 料理教室	間もなくお正月。日本の文化を学びます。	JA女性部
2020年 1月 9日 9:30～11:00	癒しのインテリア ハーバリウム教室	JA 料理教室	今人気のハーバリウム作りに挑戦します。自分だけのオリジナル作品を作ります。	小村 麗香
2月13日 9:30～11:30	日本の文化を学びます 茶道を体験	営農総合センター	茶道のお作法を学びます。	調整中
3月12日 9:30～11:00	自分の体を守る 乳がんチェックとリンパコンディショニング	JA 料理教室	自分でできる乳がんチェックとリンパの流し方を教わります。	JA島根厚生連
4月9日 9:30～12:00	大豆から作る 手作り豆腐に挑戦	JA 料理教室	地元の大豆を使用して豆腐を作ります。	JA女性部
5月14日 9:30～11:30	やさい作りを学ぼう 夏野菜を育ててみよう	JA 料理教室	畑に出て野菜作りを学びます。また、プランター栽培でベランダやテラスで収穫が可能に！	JA職員
6月11日 9:30～12:00	伝承の技を学ぶ 郷土料理教室「笹巻き」作り	JA 料理教室	昔から伝わる「笹巻き」の作り方を教わります。	JA女性部
7月9日 9:30～11:00	驚きのヨガの効果を感じ ヨガ教室	JA 荘原支店	日々の疲れを癒し、きれいな身体づくりをします。	渡部 淳子
8月6日 9:30～12:00	女性部秘伝のたれ 焼き肉のたれ作り	JA 料理教室	JA女性部グループが毎年作るたれを伝授します。	JA女性部
9月10日 9:30～12:00	喜びの卒業式 卒業パーティー	調整中	卒業証書授与・思い出を語りながらみんなで会食	

※講義内容、日程、講師、会場など変更になる場合がございますので予めご了承ください。

●お問い合わせ



JAしまね斐川地区本部 JAひかわ女性大学事務局

〒699-0593 出雲市斐川町荘原2172-3番地(組織広報課 TEL 73-9605 FAX 73-9623)

✂ キリトリ線

JAひかわ女性大学事務局行き

JAひかわ女性大学 Spice 入学願書

ふりがな		〒	
お名前		ご住所	
生年月日		電 話	

※個人情報の取り扱いについては、JAおよびJAひかわ女性大学の事業運営において利用いたします。

# JAしまね 斐川地区本部 休日ローン相談会開催!!

8月の  
相談会は **8/24(土)** です。



**開催時間** 9:00~12:00

- ☆「平日は忙しくて相談にいけない」という皆様のマイホームの新築・購入・リフォーム資金等様々なご要望にしっかりお応えいたします。
- ☆ご予約なしでもご相談できますが、事前にご予約いただきますと、ご希望のお時間にご相談をお受けすることができます。
- ☆JAでは「子育て応援宣言」と題して、子育てしやすい環境づくりへの貢献を目指し、子育てをがんばる皆様を全力で応援します。
- ☆お得な特典をとりそろえておりますのでぜひJAへご相談ください。
- ☆相談はもちろん無料です！皆様のご来場をお待ちしております！！

家を建てたいんだけど住宅ローンについて何も分からない……。みんなどうやって家を建てているのかな？！



JAでは、「子育て応援宣言」をしたらしいよ!!特典がいっぱいあるみたい!特典項目が追加になったみたいよ!!

いま、JA以外で借りている住宅ローンの借換について聞きたいんだけど、どこで聞けばいいんだろう?

金利で返済額はどのくらい違うの?

## まずはJAに行って聞いてみよう!

	<b>開催場所</b>	荘原支店	.....Tel・Fax 72-0049
		出西支店	.....Tel・Fax 72-0445
		伊波野支店	.....Tel・Fax 72-0805
		斐川中部支店	.....Tel・Fax 72-0249

※8月は、ローンセンター・出東支店では開催しておりませんのでご了承ください。

○ご来場いただいた方には、オリジナルグッズをプレゼント!

○JAとお取引のない方も、お気軽にご来場ください!

※ローンのご利用は、当JA所定の資格・要件を満たす方に限らせていただきます。

※ローン商品及び金利についての詳しい内容については、店頭または

JAホームページ(<https://jabank.ja-shimane.jp/>)に説明書をご用意しております。

相談会に関するお問い合わせは、各支店または、ローンセンター(☎73-9629)までお問い合わせください。



JALしまね

キャンペーン期間

2019.6.3<sup>月</sup>—8.30<sup>金</sup>

貯金コース

# サマーキャンペーン 2019

期間中、下記のいずれかのお取引をご契約いただいた個人の方の中から抽選で400名様<sup>(※1)</sup>に

## 島根の特産品 (3,000円<sup>当</sup>) プレゼント!

特産品は **島根県農協青年組織協議会盟友** が生産した、自慢の一品ばかり!



何が当たるかは  
お楽しみです。

### 対象のお取引

- ① 定期貯金……10万円以上新規または、増額でご契約いただいた方 (期間1年以上) <sup>(※2,3)</sup>
- ② 積立定期貯金…月額1万円以上新規または、増額でご契約いただいた方 <sup>(※2,4)</sup>
- ③ 定期積金……36万円以上新規にご契約いただいた方 (期間3年以上) <sup>(※2,4)</sup>

(※2) 上乗せ金利の適用があるものを除きます。(※3) 窓口でお預入いただいたものに限ります。(※4) 口座振替での掛込に限ります。



JALしまねは  
しまねの農業  
皆さまの資産形  
応援します



抽選ではずれた方で下記のいずれかのお取引がある方の中から  
抽選で300名様<sup>(※1)</sup>にJAおさいふカードポイント

## 500ポイントプレゼント!

令和元年10月末に付与いたします。

- 給与振込口座のご指定 ● 年金振込口座のご指定 ● 年金受取のご予約
- JAネットバンクのご利用 ● JAカードのご利用

(※1) JALしまねサマーキャンペーン2019(投資信託・iDeCoコース)と合わせた人数になります。

- **応募方法** 対象のお取引に対して下記のとおり抽選権をお付けします。  
① 定期貯金 / 10万円を1口として、1本の抽選権がつきます。  
② 積立定期貯金 / 月額1万円を1口として、1本の抽選権がつきます。  
③ 定期積金 / ご契約1口につき、1本の抽選権がつきます。
- **当選発表** 令和元年10月中旬頃、ご当選された方に対して当選通知をお送りします。
- **抽選権の失効** 抽選日の前日までに対象のお取引が中途解約されていた場合、懸賞抽選権は無効となります。
- **個人情報の取扱** 取得したお客様の個人情報は商品の抽選・発送のためのみに使用します。

## 投資信託・iDeCoコースもあります!

JALしまね



JAバンクは、どなたでもご利用いただけます。  
くわしくはお近くのJA窓口までお問合わせください。





グリーンセンターから

TEL 73-9070

# 野菜等出荷者協議会新規会員説明会

**とき** 令和元年 8月27日(火) 14:00~

**ところ** JAしまね斐川地区本部 営農総合センター

**内容** ・出荷者協議会の会員になるためには  
・活動内容についての説明

皆さんお気軽にご参加ください!!



※会員資格は男女問いません

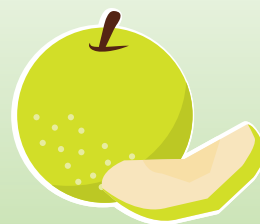


ご自宅でできた自慢の野菜・花・果物などを、自分のペースで出したい時に出しながら、仲間と楽しく元気に活動しています!

今年も上質な梨ができました。  
山陰の味を全国にお届けします!!

全国発送承ります

# 二十世紀 梨



東郷産、琴浦産、安来産

8/18(日)より  
予約受付開始いたします。

自動車整備工場から

## 今月の特選車

TEL 73-9627

### ホンダ アクティトラック

初度登録 平成25年8月  
走行キロ 7,380km  
車体色 ホワイト  
ミッション 5MT  
4WD エアコン パワステ ラジオ



車検整備付

車両本体価格 **864,000**円 (税込) (諸費用別)

担当 山根、中浜、古瀬

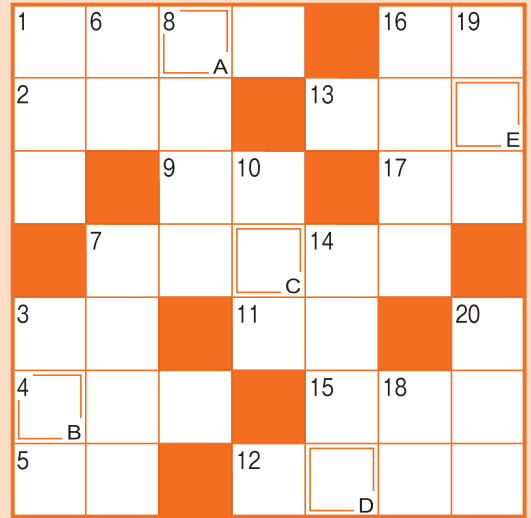
タテのカギ

- ① テレビのリモコンにはたくさん付いています
- ③ くだらかな——が続く丘陵地
- ⑥ 合唱部が練習するもの
- ⑦ 耳かきと共に行方不明になりやすいそうです
- ⑧ 今からこれじゃ、——が心配だなあ
- ⑩ 仲人から紹介を受けて、伴侶候補と会います
- ⑭ 宴会でグラスをみんなで掲げて……
- ⑯ 相撲の勝敗を記録した——表
- ⑱ ゴホゴホゴホ
- ⑲ 価格が高くなること
- ⑳ 煮物などに使う、アルコールを含む調味料

ヨコのカギ

- ① 9月1日は——の日。非常持ち出し袋や避難経路を確認しましょう
- ② 高知の名物料理、カツオの——
- ③ 皮膚の表面にある細かな模様。——の細かい肌
- ④ 食器を拭く布です
- ⑤ いがに守られた実がなります
- ⑦ 晴れた十五夜にはとても明るい
- ⑨ 矢を射る道具
- ⑪ 陽の反対語
- ⑫ 国や地方自治体に納めます
- ⑬ 首都はモスクワ。大きな国です
- ⑮ 肉料理に添えたり、刻んでスープに浮かべたりする香草
- ⑯ 傘にも凧(たこ)にもあります
- ⑰ バラの茎にある突起

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒699-0593 出雲市斐川町莊原2172-3  
JAしまね 斐川地区本部 組織広報課 「クイズ」係  
2019年9月5日（木）（当日消印有効）

先月号の答え 「キモダメシ」



・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。



要注意、熱中症

JA島根厚生連

毎日暑い日が続いていますね。夏は熱中症に注意が必要です。重症化すると命に関わります。熱中症の症状を理解し、予防に努めましょう！

◎熱中症は、高温多湿な環境に私たちの身体が適応できないことで生じる様々な症状の総称です。以下のような症状が出たら、熱中症にかかっている危険性があります。

- 1. めまいや顔のほてり
- 2. 筋肉痛や筋肉のけいれん
- 3. 体のだるさや吐き気
- 4. 汗のかき方がおかしい（何度拭いても汗が止まらない、まったく汗が出ないなど）
- 5. 体温が高い、皮膚の異常
- 6. 呼びかけに反応しない、まっすぐ歩けない
- 7. 水分補給ができない

このような症状が出ないように、日頃から熱中症の予防・対策をおこないましょう。

●熱中症の予防のための3つのポイント

- ① **脱水対策**——のどが渇かなかつたり、汗をかかなくても水やお茶などでこまめに**水分補給**します。大量に汗をかくと、汗とともに塩分（ナトリウムなど）も失われます。その場合は、水分に加え、塩分補給が必要です。スポーツドリンクを利用してもよいです。入浴時や睡眠時にも汗をかいているので、入浴前後、寝る前、起床時にも水分を補給しましょう。
- ② **体の内部の温度を上げない**——外出するときは、**11～15時ごろの日中の暑い時間帯**を避けます。また、外出や屋外での活動をする場合は、天気予報や環境省の「熱中症予防情報サイト」で、暑い日や時間帯を確認するとよいでしょう。外出したら、こまめに涼しい場所での休憩をはさみ、水分補給をします。
- ③ **室内を涼しくする工夫**——熱中症の約40%は室内で起きているというデータもあります。部屋はカーテンなどで日ざしを遮り、**エアコンと扇風機を併用**して温度を下げましょう。特に高齢者は、暑さを感じにくい場合があります。**温度計や湿度計**を使って数字で確認し、温度は28℃、湿度は70%を超えないようにします。

正しい理解・適切な予防で、暑い夏を乗り越えましょう！！

ハチを見かけたら巣づくり警報!

**無料調査**  
**ハチ駆除**

近寄らず、触らず!!  
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は  
最寄りのJAまでご連絡ください。  
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの  
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

最寄りのJA各支店・  
支所にお問い合わせ  
ください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

**Kodama 株式会社 コダマサイエンス**

■本社 / 島根県松江市西嫁島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■江津営業所 / ☎0855-52-6852

■益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■隠岐営業所 / ☎08512-2-2471



**島根県立農林大学校  
入学試験実施のお知らせ**

- 募集人員** ①農業科(有機農業・野菜・花き・果樹・肉用牛) / 40名【修業年限2年】  
②林業科 / 20名【修業年限2年】  
③短期農業経営者養成科 / 5名【修業年限1年】

- 試験日** 学校長推薦 / 令和元年10月30日(水)  
一般前期 / 令和元年12月11日(水)  
一般後期 / 令和2年2月13日(木)  
地域推薦 / 随時  
自己推薦 / 令和元年10月30日(水)、31日(木)  
※一般後期試験は実施しない場合があります。

- 試験会場** 島根県立農林大学校 (大田市)

◆詳しくは◆  
農林大学校の  
ホームページ、または  
農林大学校  
☎0854-85-7012  
まで。

## 簡単ガパオライス



ご飯の上にピリ辛いひき肉を乗せ、目玉焼きと一緒に食べるタイ料理の定番ご飯「ガパオライス」です。日本人の口にも合う味です。暑い夏にピッタリの料理で、フライパンひとつで作れるので、サッと手早く食べたい時にもおすすめです。

### ●材料（2人分）

鶏ひき肉…………… 180g	赤唐辛子（小口切り） …… 1本
酒…………… 大さじ1	卵…………… 2個
赤パプリカ…………… 1/2個	① オイスターソース、ナンプラー …… 各大さじ1
ピーマン…………… 60g	
玉ねぎ…………… 60g	サラダ油…………… 大さじ1
バジル…………… 20枚	ごはん…………… 2人分
にんにく（みじん切り） …… 5g	

### ●作り方

- ①玉ねぎ、ピーマン、赤パプリカは1cm角切り。
- ②フライパンにサラダ油、にんにく、赤唐辛子を入れ香りをだす。
- ③鶏ひき肉を入れ、酒をふりかけて炒める。
- ④玉ねぎ、ピーマン、赤パプリカを入れ炒め、しんなりしたら①の調味料を入れる。
- ⑤手でちぎったバジルを軽くまぜ、火を止める。
- ⑥目玉焼きを焼く。
- ⑦皿にごはんを盛り、⑤と目玉焼きをのせる。

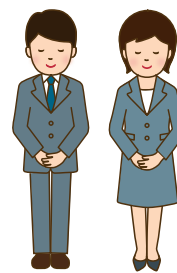


## JA共済ご加入時におけるおさいふカードへのポイント付与廃止のお知らせ

平素はJAしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、当JAでは、新規でJA共済にご加入いただいたご契約者のみなさまに、「おさいふカード」へのポイント付与を行っておりましたが、**行政庁の指導により**、令和元年9月30日までの新規共済契約をもちまして、おさいふカードへのポイント付与を終了させていただきます。何卒ご了承いただきますよう、よろしくお申し上げます。

今後も組合員・利用者のみなさまにご満足いただけるサービスの提供に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



### 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通（ののむらなおみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙は大田市三瓶町の「浮布池」です。浮布池は、三瓶山の堆積物が谷の出口をふさいで出来た堰き止め湖で、池の南岸近くにある中の島には瀬幣姫神社（にべひめじんじゃ）が祀られています。池の北岸からは水面に浮かぶ神社の鳥居が望め、幻想的な風景が当地に伝わる女性と大蛇の悲恋伝説を連想させます。

### 編集後記

本店トピックスでご紹介した「アグリミーティング」と「大産直市」。私も高校生ブースを見学しましたが…、高校生たちがキラキラした眼差しで商品を説明してくれると買わないわけにはいきませんよね。おすすめされるがまま、ついつい買すぎてしまいました。後悔はありません。おじさんは格好をつけたかったのです。高校生のみんな！おいしかったよ！（和）

### 【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっております。原画の全体は次のとおりです。

